

ハンガー

はんがー
hanger



日本コパック（株）
古川さん
安齋さん

ハンガーやハンガーラック、マネキン、レジカウンターなど様々な店舗什器があります。どれも洗練されたデザインのものばかり。知らない間にどこかで目にしているはず。台東区の柳橋付近に会社があって、おしゃれなギャラリーを併設している。ギャラリーにあるパーティションもハンガーで作られています。デザインの力でとてもおしゃれな空間です。

2020 年からギャラリーを外に開くために「東東京市」というイベントをスタート。様々な人たちを巻き込み、遊びながら仕事に繋がる取り組みも実践している。「事業のストレッチ」と呼んでいる古川さんと安齋さんにお話を聞いてみました。



写真：東東京市の様子



写真：様々なハンガー

普段、お仕事をしていると、同じ人たちとしか会わないことが多いんだ。そこで日本コパックは、会社の1階をギャラリーにしたんだ。すると、たくさんの人たちと出会う機会が増えたんだよ。同じ人たちばかりといっしょにいと、考え方も同じになりやすく、新しいアイデアが出にくくなるんだよ。

いろいろな世界を知ること、ものの見方や考え方が広がり、それがとても楽しいんだって。この広がった状態を『ストレッチ』と呼んでみたい。これは、新しいアイデアや考えをまとめるためのトレーニングのようなものなのかもね。

そのトレーニングのひとつとして、子どもたちと一緒にワークショップもやったんだ。そしたら子どもたちから「大人たちは経験があるのに、どうして僕たちのアイデアを聞ってくれるの」と不思議そうに質問されたんだって。たしかにそうかも。でも大人たちは、商品を作るときに、新鮮なアイデアや視点を求めている、子どもたちの意見を大切に考えているんだよ。その結果、大人と子どもたちが一緒に考えたアイデアはとても面白いものになるんだ。

さらに、みんなで1階のギャラリーを街に開くイベントを開催したことがあるんだ。それがとても楽しかったみたい。楽しいことが仕事に結びついて驚きもあったみたいだよ。最近この楽しい仕事のことを『あそび仕事』と呼ぶこともあるんだ。

アウトレット品のハンガーを提供してくれた日本コパックさん。ハンガーを使って新しい遊びをみつけてね。きっとそれは未来の「あそび仕事」につながっていくよ。